



宮脇教授の **ひとくち** Economy & Finance

日本・世界の経済・財政

北海道大学法学研究科・公共政策大学院

「宮脇淳教授のニュースレター」

国と地方の財政・金融そして公共政策の面から研究。地域に足場を持ちながら今後の制度設計や地域経営のあり方等、国そして各地域の実践的課題に挑戦。

日本経済・アジアの中の円

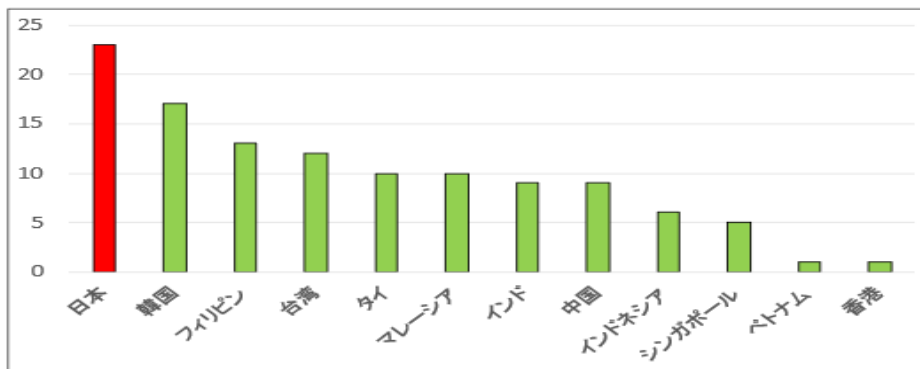
2022/10/11 第 860 号

朝日田コーポレーション

●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp

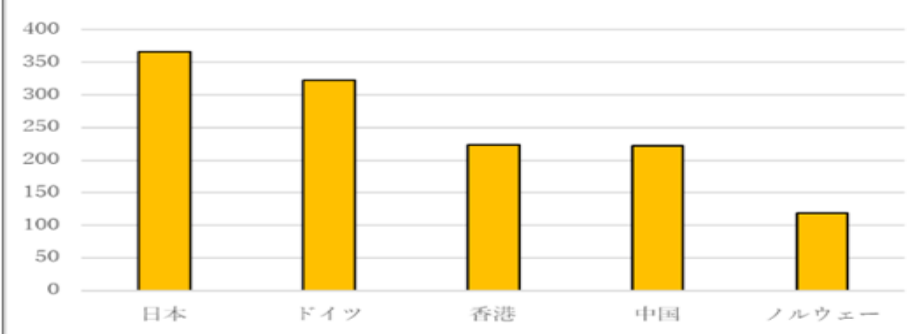
●ホームページ: <http://www.sapporo-php.co.jp>

アジア諸国通貨の下落率 -対ドル相場2022年9月過去1年-



円の安全資産性 -財務省資料-

2020年末対外純資産(兆円)



(資料)日本銀行及び財務省データより作成。

円ドル相場が円安に推移している中で、アジア通貨の動向が注視される。アジアの主要国通貨の中で過去一年間、対ドルレートで最も安くなったのが日本・円、次に韓国・ウォン、フィリピン・ペソと並ぶ。対ドルとの関係でFRBの政策金利動向が注目されるものの、韓国等アジアの政策金利もドルとの関係で引き上げる傾向を強めている。そうした中、構造的・恒常的低金利政策を続ける日本・円が相対的競争力をさらに低下される危険性がある。2022年上期の円建て輸入比率は22.7%輸出比率36%にとどまっており、円のグローバル化は進んでいない。加えて、円の安全資産性も担保する対外純資産もドイツの追撃、国際政治の枠組みの流動化により揺らいでいる。